

都道府県対抗全日本マスターズ駅伝 総合Vは兵庫。滋賀、愛知が2、3位

空風が吹く季節に逆らうように熱いレースが繰り広げられた。11月17日に愛知・長久手市で行われた第32回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝では、兵庫が前回に次いで総合優勝。10月には岩手・北上市で2019全日本マスターズ競歩、神奈川・小田原市で第30回全日本マスターズ混成競技選手権も開催された。盛りだくさんの結果をお届けする。

●全日本マスターズ駅伝

男子は兵庫が4年ぶり王座へ
女子は愛知が初V

32回目を迎え愛知・長久手市の愛・地球博記念公園を舞台に郷土の栄誉を懸けて争われた都道府県対抗駅伝の男子は兵庫が愛知の4連覇を阻み、4年ぶり7回目の優勝を飾った。女子は愛知がうれしい初優勝を遂げ、5連覇に照準を合わせていた兵庫は4位だった。エルダーも静岡が初の栄冠に輝いた。

男子は1区の出来がレースを決めた。スタート直後から飛び出し、2位以降を大きく引き離したのは兵庫の西山和範さんだ。15分04秒で2区に引き継いだ。2位の滋賀とのタイム差は27秒。しかも4連覇に意欲を見せていた愛知とは2分03秒の大差。愛知の川畑憲三さんは調子がもうひとつだったのだろうか。14位の出足で2区走者へ。愛知は3区の中野哲也さんが9人抜きの草駈天ぶりを見せ、最後は兵庫と1分31秒差の2位まで浮上したのだから、序盤のつまづきがなければと惜しまれた。

兵庫は西山さんの健闘が実を結び、全区間トップで走り続けた。区間賞は西山さん1人だけだったが、区間2、3位が2人ずつと安定していた。特に5区の竹村真一さんは、愛知の近藤直樹さんと15分38秒の同タイムだったが、生年月日によって決められる区間賞を逃した。

兵庫はアンカーの瀬口啓太さんも区間2位の力走で4年ぶりにテープを切った。兵庫は夏に神鍋高原で1回宿泊練習をやり、秋に2回記録会を行うなど、しっかり準備をしてきた。北垣章監督は「駅伝戦法の定石“先制攻撃”（1区）の通りになりましたね。西山さんの後、皆さんがスムーズにタスキを運んでくれました。4年ぶりに勝って良かった」と喜びの弁。

女子は男子と同じように1区で先制打を放った愛知が終始独走した。愛知の1区は古川千歩さん。前回は1区で区間賞を獲得した実力を今年も発揮した。愛知は女子のみの対抗戦で過去最高の成績は2位（4回）。女子対抗戦が始まった第16回大会（2003年）の13位発進から、待望の女王の座に。うれしき倍増だろう。

5連覇なるか、に注目された兵庫は思わぬ4位へ。当初予定したレギュラーのうち、故障者が出てオーダー変更を余儀なくされた。2区の今泉愛子さんから追い上げ、3区の田中美香さんで2位に浮上したが、そこまでだった。ここは2、3位を占めた愛媛、滋賀の健闘が光った。

エルダーは順位争いが目まぐるしく変わり、見る人を楽しませた。1区のトップは何と愛媛の新堂祥子さんだった。最後は13位となったが、新堂さんは新風を吹き込んだ。優勝した静岡の前は16位。よくぞ1年間で目覚ましい飛躍を遂げたものだ。立派というほかない。喜びもひとしおだろう。

【男子】※名前、区間記録、順位

1位 兵庫

（西山和範15分04秒①、吉村章17分43秒③1、山下智弘16分27秒③1、山端良尚16分14秒⑦1、竹村真一15分38秒②1、瀬口啓太15分21秒②）

2位 愛知

（川畑憲三17分07秒④、下川勝彦17分44秒④13、中野哲也16分10秒②4、池田昌雄16分04秒④3、近藤直樹15分38秒①2、河野宏樹15分15秒①）

3位 滋賀

（大辻夏樹15分31秒②、木村将弘18分26秒④14、農添光陽17分19秒⑥5、佐藤誠17分04秒⑩8、川西治雄15分48秒③5、沖和彦15分33秒③）

【女子】

1位 愛知

（古川千歩10分20秒①、長坂恵子11分09秒①1、後藤陽子11分15秒④1、坂川真由美10分45秒①1、鈴木可奈子11分26秒⑧）

2位 愛媛

（山上紀子11分11秒⑥、相原直美11分37秒④3、大西恵美子11分13秒③3、合田睦美11分28秒②2、二宮歩美11分10秒④）

3位 滋賀

（中江保子10分56秒③、伊神佐登美11分32秒③2、原田晴美12分20秒⑧4、古山志穂11分37秒④3、海部奈苗10分51秒②）

【エルダー】

1位 静岡

（大吉ますみ11分59秒④、植草輝和11分52秒⑧6、保坂好久11分48秒①1、竹田静子13分03秒③2、山本嘉昭10分54秒⑥）

●第32回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会

男子 (6区間30km=各区間5km)		
順位	都道府県	記録
1位	兵庫	1時間36分27秒
2位	愛知	1時間37分58秒
3位	滋賀	1時間39分41秒
4位	徳島	1時間40分05秒
5位	三重	1時間40分46秒
6位	新潟	1時間40分57秒
7位	山梨	1時間41分01秒
8位	石川	1時間41分48秒
9位	大阪	1時間41分55秒
10位	愛媛	1時間42分07秒
11位	大分	1時間42分21秒
12位	静岡	1時間43分02秒
13位	和歌山	1時間44分05秒
14位	秋田	1時間44分22秒
15位	広島	1時間45分54秒
16位	宮崎	1時間45分56秒
17位	富山	1時間48分04秒
18位	鳥取	1時間48分49秒
19位	福岡	1時間50分05秒
20位	福島	1時間50分59秒
OP	京都	1時間46分12秒

女子 (5区間15km=各区間3km)		
順位	都道府県	記録
1位	愛知	54分55秒
2位	愛媛	56分39秒
3位	滋賀	57分16秒
4位	兵庫	57分18秒
5位	京都	58分54秒
6位	富山	59分05秒
7位	和歌山	59分39秒
8位	新潟	59分53秒
9位	岡山	1時間00分44秒
10位	三重	1時間00分44秒
11位	福岡	1時間00分51秒
12位	鳥取	1時間01分03秒
13位	山梨	1時間01分44秒
14位	大阪	1時間03分10秒

エルダー (5区間15km=各区間3km)		
順位	都道府県	記録
1位	静岡	59分36秒
2位	新潟	1時間00分09秒
3位	滋賀	1時間00分23秒
4位	兵庫	1時間00分27秒
5位	岡山	1時間01分17秒
6位	石川	1時間01分40秒
7位	愛知	1時間01分41秒
8位	大阪	1時間02分33秒
9位	福島	1時間02分48秒
10位	富山	1時間02分53秒
11位	秋田	1時間03分22秒
12位	大分	1時間03分34秒
13位	愛媛	1時間05分29秒
14位	山梨	1時間05分34秒
15位	長野	1時間06分12秒
16位	福岡	1時間09分19秒
17位	京都	1時間10分49秒
OP	鳥取	59分50秒

▼男子区間賞			
1区 M35	兵庫	15分04秒	西山 和範
2区 M55	新潟	17分08秒	土屋 正幸
3区 M50	大阪	15分55秒	島田 博行
4区 M45	三重	15分22秒	竹中 泰知
5区 M40	愛知	15分38秒	近藤 直樹
6区 M30	愛知	15分15秒	河野 宏樹

▼女子区間賞			
1区 W35	愛知	10分20秒	古川 千歩
2区 W50	愛知	11分09秒	長坂 恵子
3区 W45	兵庫	10分32秒	田中 美香
4区 W40	愛知	10分45秒	坂川真由美
5区 W30	兵庫	10分04秒	横田 歩

▼エルダー区間賞			
1区 W55	愛媛	11分39秒	新堂 祥子
2区 M65	滋賀	10分46秒	曾野 政男
3区 M70	静岡	11分48秒	保坂 好久
4区 W60	愛知	12分02秒	中山 淳子
5区 M60	新潟	10分20秒	岩崎 和広

2位 新潟

(加藤澄子12分27秒⑩、塚田義一11分17秒②5、戸叶精一12分23秒④3、石川美世婆13分42秒⑧4、岩崎和広10分20秒①)

3位 滋賀

(古家雅恵12分04秒⑥、曾野政男10分46秒①1、三木秀雄13分57秒⑤6、太田君子13分15秒⑦7、中島洋10分21秒②)

●全日本マスターズ競歩

日本新 10、創設日本記録 3

2019いわて北上ロードウォーク大会・全日本マスターズ競歩大会(10月14日・岩手県北上総合運動公園)は男女45人が参加、50km、20km、10km、5km各競歩を行い、日本新10、創設日本記録3が誕生して盛り上がった。

日本新記録などの樹立者は別表の通り。

●全日本マスターズ混成

男子五種、女子七種で3つの日本新

第30回全日本マスターズ混成競技選手権大会(10月19、20日・小田原市城山)で男子五種、女子七種各競技

●2019いわて北上ロードウォーク大会・全日本マスターズ競歩大会

50kmW	M24-※	1位	6時間22分12秒	江原 琢人 (19・埼玉)
	M70 ◎	1位	6時間09分24秒	八重樫 悟 (70・茨城)
	W50 ※	1位	6時間43分41秒	佐藤奈緒美 (54・北海道)
20kmW	M25 ※	1位	2時間49分29秒	山本 幸大 (26・愛知)
	W75 ◎	1位	2時間30分53秒	松本 初枝 (77・千葉)
	M30 ◎	1位	51分01秒	村上 勇磨 (33・広島)
10kmW	W55 ◎	1位	1時間05分25秒	増岡美由紀 (55・奈良)
	M30 ◎	1位	26分06秒	村上 勇磨 (33・広島)
	M50 △	1位	29分06秒	谷口 茂 (50・兵庫)
5kmW	M65 ◎	1位	28分43秒	佐々木 茂 (66・青森)
	M80 ◎	1位	36分47秒	米沢 清彦 (80・千葉)
	W50 ◎	1位	29分47秒	佐々木あさみ (53・青森)
	W55 ◎	1位	33分07秒	増岡美由紀 (55・奈良)
	W65 ◎	1位	31分42秒	矢沢美代子 (67・長野)

(カッコ内数字は年齢、◎は日本新、※は創設日本記録、△は大会新)

にクラス別日本新が3つ生まれた。男子はM24-の麻植一輝さん(23歳・徳島)が3095点を出し、2712点の日本記録を書き替えた。M45では市川岳史さん(45歳・神奈川)が3576点をマーク、3523点の日本記録を更新した。

女子ではW30の筆野友里さん(30歳・神奈川)が4174点の高得点を出し、3336点の日本記録を破った。

【男子五種競技】

M24-

①麻植一輝(23・徳島) 3095

[走幅跳6m21(0.0)-やり投60m32-200m23秒55(+1.5)-円盤投31m01-1500m5分10秒25]=日本新

M45

①市川岳史(45・神奈川) 3576

[6m15(+0.6)-45m94-24秒32(+0.2)-25m40-4分50秒08]=日本新

【女子七種競技】

W30

①筆野友里(30・神奈川) 4174

[ハードル15秒49(+0.4)-走高跳1m51-砲丸投9m04-200m27秒61(-0.1)-走幅跳5m28(+0.7)-やり投31m64-800m2分47秒53]=日本新



第8回全日本マスターズロードレース大会(11月17日・愛知)および麒麟のまちとっとり・2019地域対抗マスターズ駅伝(11月23日・鳥取)の成績は次号で記載。なお、地域対抗マスターズ駅伝の対抗の部・男子は気高郡A、女子はラ・プワール鳥取が1位となった。